

探究の問いづくりワークシート

といのタネ

氏名: _____ クラス: _____

_____ 記入日: _____

探究テーマ: _____

このワークシートは、テーマを「答えの形が決まる問い」の1文に変えるための用紙です。ステップ1から順に記入します。所要の目安は合計60分です。

ステップ1 気になることを10個書き出す(10分)

ここでは、AIを開く前に、テーマについて気になることを自分の手で書き出します。「なぜ」と思った場面、数字を知りたいこと、人によって意見が分かれそうなことを短い言葉で書きます。種類の欄には「なぜ」「数字」「意見」のどれかを書きます。

番号	気になること	種類
例	駅前のバスが朝と夕方しか混んでいない	なぜ
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

ステップ2 4つの型で問いの候補を作る(15分)

ここでは、ステップ1のメモを4つの型の問いに書き換えます。AIに候補を出してもらった場合も、この欄には自分の言葉で書き直して写します。

型	書き出しの言葉	答えの形	自分の問いの候補
事実の問い	何が・どう変わったか	数字や年表	
理由の問い	なぜ	原因の説明と根拠	
比較の問い	どちらが	基準を決めた比べ方	

型	書き出しの言葉	答えの形	自分の問いの候補
提案の問い	どうすれば	条件付きの提案	

迷ったときは、事実の問いか理由の問いを先に1つ埋めます。提案の問いは、事実と理由が分かったあとのほうが根拠を書きやすくなります。

ステップ3 3つに絞り、調べ方を書き添える(15分)

ここでは、候補から3つを選び、確かめに使う資料と取り組みやすさを書き込みます。資料の種類が書けない候補は外します。

判断の軸は3つです。1つ目は、高校生が手に入れられる資料で確かめられるかどうかです。2つ目は、決められた期間内に答えに届きそうかどうかです。3つ目は、自分が答えを知りたいと思えるかどうかです。

候補	問い	確かめに使う資料の種類	期間内に届くか ○△×	知りたい度 1～5
例	駅前のバス路線は10年でどう変わったか	市の公開資料、過去の時刻表	○	4
A				
B				
C				

一番取り組みたい候補: _____

ステップ4 指摘を受けて、自分の言葉で1文に書き直す(10分)

ここでは、選んだ問いの弱いところを書き留め、自分の言葉で書き直します。AIに点検してもらった場合は、その指摘を短く写します。先生や友人からの指摘を書いてもかまいません。

指摘1: _____

指摘2: _____

指摘3: _____

書き直す前の問い: _____

書き直した問い(1文・40字以内): _____

意味を決めておく言葉: _____

最初に確かめる資料の種類: _____

ステップ5 提出前に確かめる(10分)

ここでは、書き直した問いを7つの点で確かめます。印が付かない項目があれば、ステップ3かステップ4に戻ります。

- [] 疑問文で終わっている

- ☐ 自分の町・学校・学年など、場面が分かる語が入っている
- ☐ 自分が説明できない語が入っていない
- ☐ 答えたときに何が手元に残るかを1行で書ける
- ☐ 確かめに使う資料の種類を1つ以上書ける
- ☐ AIが出した文をそのまま写していない
- ☐ 授業でのAIの使い方について、学校の案内を確かめた

記入例

探究テーマ: 地域の公共交通

ステップ1のメモ: 駅前のバスが朝と夕方しか混んでいない／通院にタクシーを使う人が近所にいる

ステップ2の候補: 理由の問い「駅前のバスが日中すいているのはなぜか」

ステップ4の指摘: 「すいている」の基準が人によってぶれる

書き直した問い: 駅前発のバスの日中の便は、10年でどう変わったか

最初に確かめる資料の種類: 市の公開資料と、図書館にある過去の時刻表

先生からのコメント

コメント: _____

次の授業までに直すこと: _____